

作物の種類		なたね	438	1次必須項目											
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
1	草型	区	観察		1型	2型	3型	4型							成熟期の草型（主茎と1次分枝の高さ及び分枝の発達程度）,種苗特性分類調査報告書参照
2	草丈	10個体	測定	cm（小数第1位を四捨五入）										成熟期における最長茎の地際から頂端までの長さ	
3	茎, 莢のアントシアンの有無	区	観察		無									有	成熟期における茎と莢のアントシアンの有無
4	根の肥大	10個体	観察		無									有	収穫期における根部の肥大の有無
5	穂長	10個体	測定	cm（小数第2位を四捨五入）										成熟期における主茎の止葉から頂端までの長さ	
6	葯の赤点	区	観察		無									有	葯の先端の裏側の赤点の有無
7	粒色	区	観察		黄		赤褐		黒褐		灰黒			黒	成熟期における種皮の色
8	抽苔期	区	観察	年月日										全個体の約50%が抽苔した日	
9	開花期	区	観察	年月日										全個体の約50%が開花を始めた日	
10	成熟期	区	観察	年月日										全個体の約90%が成熟した日（「成熟」とは主茎の穂先から1/3くらいのところの莢の種子が5~6粒褐色を帯びたものをいう）	

作物の種類		なたね	438	1次選択項目											
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
1	第1次分枝数	10個体	測定	本（小数第2位を四捨五入）										成熟期における主茎から生じた分枝の数 「分枝」とは5葉以上着生した枝	
2	総分枝数	10個体	測定	本（小数第2位を四捨五入）										成熟期における主茎，第1次，第2次分枝等分枝の総数	
3	葉形（1）	区	観察		丸	へら	楕円								本葉3～4枚の頃の本葉2枚目の形，種苗特性分類調査報告書参照
4	葉形（2）	区	観察		無								有	開花始めに茎を抱く葉の有無，種苗特性分類調査報告書参照	
5	欠刻	区	観察		無		浅		中		深			本葉7～8枚の頃の幼植物の葉の欠刻の深さ	
6	毛茸（葉）	区	観察		無		少		中		多			本葉第2葉の毛茸の多少	
7	葉色	区	観察		黄緑	淡緑	緑	濃緑	帯紫					本葉7～8枚の頃の葉色の濃淡	
8	葉のアントシアンの有無	区	観察		無								有	本葉5～6葉の頃の葉のアントシアンの有無	
9	花色	区	観察				淡黄	やや淡黄	黄	やや橙	橙			花冠の色	
10	1穂さや数	10個体	測定	本（小数第2位を四捨五入）										成熟期における主茎の穂に着生しているさやの数。「さや」とは稔実粒の認められるもの	
11	さやの長さ	10莢	測定	cm（小数第2位を四捨五入）										成熟期における主茎の穂の下部から8さやを除き，9さや目から18さや目までのさやの長さの平均	
12	花柱の長さ	10莢	測定	cm（小数第2位を四捨五入）										成熟期における「さやの長さ」を測定したさやの先端，すなわち花柱から柱頭までの長さ	
13	着莢密度	10個体	測定	cm（小数第2位を四捨五入）										成熟期における主茎の穂の下部から8さやを除き，9さや目の着生部位から18さや目の着生部位までの穂軸の長さによる判定	
14	1さや結実数	10莢	測定	個（小数第1位を四捨五入）										成熟期における「さやの長さ」を判定したさやの1さや当たり結実数の平均	

作物の種類	なたね	438	1次選択項目											
項目 番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
15	1000粒重	1000粒	測定	g (小数第2位を四捨五入)										風乾した完全子実1000粒の重さ

作物の種類		なたね		438		2次必須項目								
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	耐寒性	80個体 2区	観察		極弱		弱	やや弱	中	やや強	強		極強	越冬後における寒害の程度から判定される抵抗性の強弱
2	耐雪性	80個体 2区	観察		極弱		弱	やや弱	中	やや強	強		極強	越冬後における雪害の程度から判定される抵抗性の強弱
3	耐病性（菌核病）	80個体 2区	観察		極弱		弱	やや弱	中	やや強	強		極強	成熟期におけるSclerotinia sclerotiorumによる発病程度から判定される抵抗性の強弱
4	春播性	10個体×5処理	観察		極低		低	やや低	中	やや高	高		極高	子葉展開期からの低温処理の長さ、その後の温室（長日条件）における抽苔・開花までの日数から判定される春播性程度
5	耐倒伏性（1）	区	観察		極弱		弱	やや弱	中	やや強	強		極強	成熟期における茎の倒伏の程度から判定される耐倒伏性の強弱
6	耐倒伏性（2）	区	観察		極弱		弱	やや弱	中	やや強	強		極強	穂のなびき程度から判定される耐倒伏性の強弱

作物の種類		なたね		438	2次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	ナモグリバエ抵抗性	区	観察				弱	やや弱	中	やや強	強			開花盛期におけるPhytophthora horticolaの被害程度から判定される抵抗性の強弱
2	黒斑細菌病抵抗性	区	観察				弱	やや弱	中	やや強	強			成熟期における黒斑細菌病の被害程度から判定される抵抗性の強弱

作物の種類		なたね		438		3次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
1	子実収量	区	測定	kg/a (小数第3位を四捨五入)										単位面積当たりの屑粒を除いた風乾子実重	
2	含油率	10g	測定	% (小数第2位を四捨五入)										所定の方法 (調査方法を備考に明記) 未記入の場合は、風乾子実の油含量をGQAまたはソクスレー法により分析して算出した含油率	
3	油の脂肪酸組成 (エルシン酸含量)	0.1g	測定	% (小数第2位を四捨五入)										種子に含まれるエルシン酸をガスクロマトグラフで分析して算出した含有率	
4	油の脂肪酸組成 (オレイン酸含量)	0.1g	測定	% (小数第2位を四捨五入)										種子に含まれるオレイン酸をガスクロマトグラフで分析して算出した含有率	
5	油の脂肪酸組成 (リノール酸含量)	0.1g	測定	% (小数第2位を四捨五入)										種子に含まれるリノール酸をガスクロマトグラフで分析して算出した含有率	
6	油の脂肪酸組成 (リノレン酸含量)	0.1g	測定	% (小数第2位を四捨五入)										種子に含まれるリノレン酸をガスクロマトグラフで分析して算出した含有率	
7	グルコシノレート含量	5粒・数反復	測定	0	+		++		+++		+++		+	子実を粉碎した試料に含まれるグルコシノレートの多少の尿糖試験紙 (テストテープ) 測定値による判定	

作物の種類		なたね	438	3次選択項目										
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	ビタミンE	区	測定	% (小数第2位を四捨五入)										高速液体クロマトグラフ法によるビタミンEの定量方法
2	粒大の整否	区	観察				否	やや否	中	やや整	整			子実の粒揃いの整否
3	油の脂肪酸組成 (ステアリン酸含量)	0.1g	測定	% (小数第2位を四捨五入)										種子に含まれるステアリン酸をガスクロマトグラフで分析して算出した含有率
4	油の脂肪酸組成 (パルミチン酸含量)	0.1g	測定	% (小数第2位を四捨五入)										種子に含まれるパルミチン酸をガスクロマトグラフで分析して算出した含有率
5	油の脂肪酸組成 (エイコセン酸含量)	0.1g	測定	% (小数第2位を四捨五入)										種子に含まれるエイコセン酸をガスクロマトグラフで分析して算出した含有率